

生産技術人材育成講習会

～次世代型食品工場への進化プロセス～

第1回：戦略的改善の第一歩

「標準化」によるリソース創出と改善マインドの醸成

2026年

5月11日 13:00～14:30

オンライン開催/受講無料



[お申し込みはコチラ！](#)

食品工場の自動化に向けた技術者育成は、経験や現場ごとの工夫に大きく依存してきた一方で、体系的に学ぶ機会は限られており、人材育成や技術継承に課題を抱えているのが現状です。

そこで、本講習会では、食品工場の自動化に必要な実践的な知識と技術を体系的に学べる全4回の構成とし、工場がどの段階を経て進化していくのかを捉え、各回は完結したテーマで構成し、現場で活かせる視点を提供します。

また、「管理技術（IE）」を土台とした人間中心の現場変革を重視し、単なる効率化や省人化にとどまらず、効率化で生まれた時間やリソースを人への投資（教育・高付加価値業務への転換）へ再配分することを目指します。

こんなお困りごとがある人にオススメ

- ✓ 設備担当者だが、設備の故障やメンテナンスの際に基礎知識がなく戸惑う。
- ✓ 業務改善する上で、優先順位をつけて取り組めるようになりたい。
- ✓ 社員教育のため、生産管理に関するツールや学習教材を探している。
- ✓ 現場の人手が足りず、ロボット等の自動機の導入を検討している。



詳細は裏面をご覧ください

第1回：戦略的改善の第一歩 ～「標準化」によるリソース創出と改善マインドの醸成～

開催日：2026年5月11日 13:00～14:30

講師：山形県立産業技術短期大学校 山口教授

改善は“土台づくり”から始まります

多くの現場で生産計画がうまく機能しない要因は、工数（現状）の把握不足にあります。本講習会では、テーラーの科学的管理法を現代の現場目線で再解釈し、経営と現場がともにメリットを得る改善の出発点をつくります。

本回で得られること

「標準化＝単純化×統一化」と、工数把握の進め方がわかります。エラー対策の“足し算”から脱却し、ECRS（排除・結合・入替え・簡素化）でムダを削る“引き算の改善”を身につけます。3Sの効果を体感し、標準化の価値を実感頂き、効率化で生まれた余力を、人への投資（教育・高付加価値業務への転換等）に再配分する“人間中心”の考え方を学ぶことができます。

ねらい

単なる省人化ではなく、現場の余裕とやりがいを生み出す標準化を実践できるようにします。改善マインドを醸成し、人の役割の革新と継続的な生産性向上の基盤を整えます。

講師紹介



山形県立産業技術短期大学校 山口 俊憲 教授

専門は人間工学、安全、人間中心生産工学。山形赴任後、現場改善や人材育成に関わった団体は100以上、20年以上継続する生産改善に関連する講座の開講時間は約2000時間。最近は、“コト×モノ”の改善として自動機開発にも取り組む。

【業績】第52回IE文献賞(貢献賞)受賞

開催形式：オンライン（Microsoft Teams）

対象者：食品企業生産性向上フォーラム会員

参加費：無料

申込方法：<https://forms.cloud.microsoft/r/80R7zkxv5D>

※申込み期限：2026年5月8日12時まで

その他：講習後のテストで基準を満たした方に、修了書をお送りします。

第2回は6月25日を予定しております。詳細決まり次第、ご案内致します。



食品企業生産性向上フォーラムとは？

食品産業に係る国の施策情報などの情報を食品企業や機械メーカーの皆様にご提供いたします。フォーラムでは、食品製造業の自動化設備/施設の導入、機械化、DX、食品製造現場における生産技術人材育成の支援します。どなたでも無料で参加可能ですので、ぜひフォーラムを活用して生産性向上にお役立てください。

